

11~26
 _____: _____ (三)
 Na489, 29~88
 _____: _____ (四)
 Na490, 70~93
 _____: _____ (五)
 Na492, 1~41
 1929 (昭和4) 年
 小泉秀雄: 日本の桜の新研究 Na518, 16~38
 1930 (昭和5) 年
 長谷川五作: 馬, ウマ, 或はコマと呼ぶ植物
 Na519, 93~100
 小泉秀雄: 日本の桜の新研究 Na520, 32~41
 _____: _____ Na521, 40~55
 _____: _____ Na522, 56~70
 北沢達: 黒姫山の植物 Na526, 65~72
 矢沢米三郎: 信州の山川と其生物の研究 Na528,
 68~75
 下川頼人: 北安曇郡産の帰化植物 Na528, 84~
 91
 1931 (昭和6) 年
 横内斎: 木曽谷及松本平産帰化植物 Na533, 59
 ~63
 伊藤直孝: 岩菅登山道附近の植物 Na533, 63~65
 宮入茂: 更級郡西山部植物目録 Na536, 42~49
 1932 (昭和7) 年
 波多腰節: 信州に於ける薬用植物 Na550, 63~80
 矢沢米三郎: 日本に於ける氷河問題 Na554, 7~
 12
 1933 (昭和8) 年
 河野齡蔵: 北海採集紀行 Na555, 102~109
 _____: _____ Na556, 95~102
 矢沢米三郎: 信濃博物研究家 Na564, 27~34
 _____: 樺太の山旅 Na564, 34~40
 _____: 北海道の登山 Na565, 43~47
 _____: 樺太の植物 Na566, 81~83
 1934 (昭和9) 年
 矢沢米三郎: 続日本氷河問題 Na567, 32~34

三村邦雄: 氷河問題雑観 Na567, 34~39
 矢沢米三郎: 信濃博物研究家 (二) Na570, 32~40
 飛田廣: 官幣大社諏訪神社上社社遊 Na571, 36
 ~62
 矢沢米三郎: 信濃博物研究家 (三) Na576, 32~38
 河野齡蔵: 東北諸山の植物採集 Na578, 28~34
 1935 (昭和10) 年
 長谷川吾作, 宮尾邦太郎: 風変りの茸数種
 Na589, 29~34
 矢沢米三郎: 信濃博物研究家 (四) Na589, 24~28
 1936 (昭和11) 年
 中條正勝: 浅間山の植物と其の目録 Na592, 58
 ~86
 上野益三: 日本の湖沼と其生物 Na597, 37~44
 矢沢米三郎: 信濃博物研究家 Na601, 46~49
 1937 (昭和12) 年
 手塚喜一: 姫川及び高瀬川流域に於ける積雪量分
 布に就いて (附) 姫川流域に於ける山椿の分布
 Na611, 49~65
 1938 (昭和13) 年
 前沢政雄: 塩見岳へ Na622, 47~53
 1939 (昭和14) 年
 河野齡蔵先生追悼号 Na635 (全号)
 八木貞助: 長野県の世界と其研究 Na636, 36
 ~49
 1940 (昭和15) 年
 信濃史蹟名勝天然記念物目録 Na640, 146~159
 三沢勝衛・河角広: 彼岸桜の開花期より見たる信
 州の風土 Na647, 7~17
 上野益三: 信濃の陸水とその生物 Na649, 15~
 26
 1942 (昭和17) 年
 五味新平: 戸隠山の羊歯類 Na667, 46~52

この目録を作成するに当っては、今井建樹・松田
 行雄両氏の御協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

(清水建美・木下栄一郎)

〔植物ニュース〕 33. タルホコムギ *Aegilops squarrosa* L.

本種は、長野市箱清水の長野西高等学校西側土手
 に、1975~78年にかけて毎年発生するのが確認され
 た。その頃信大教育学部学生であった安達永真氏
 (現在茅野玉川小教諭) は、長田 (1976) の図鑑か
 ら帰化植物のヤギムギ *Aegilops cylindrica* Hostで

はないかと語っていたが、先頃、国立科学博物館の
 標本と照合した結果、小アジア原産のタルホコムギ
A. squarrosa L. であることが判明した。本種は一
 年草で、コムギの起源をめぐる遺伝実験で知られる
 が、どういう経路をたどってここに生育するようにな
 ったかは不明である。御教示を賜った館岡亜緒博
 士に厚く御礼申しあげる。(高橋秀男・橋渡勝也)